

アワビ陸上養殖技術開発研究

(予算区分 県単独 研究期間 平成16～18年度)

担当：水産試験場利用普及部

【研究の背景とねらい】

- ・ 本県のアワビ漁業は、近年漁獲量の横ばい状態が続いています。アワビ養殖に対する業界からの要望は強く、養殖業を振興し消費者に対して安定してアワビを供給することが必要になってきました。
- ・ 本事業では駿河湾深層水を用いて30mm以上のアワビを陸上の養殖施設で生育させ、水流、注水量、飼育水温などの飼育方法を検討することでアワビ陸上養殖のための技術開発を行いました。さらにこれらから陸上養殖に必要なコスト計算を行いました。



メガイアワビ



巡流水槽

【研究成果】

- ・ メガイアワビ及び、交雑種(エゾ×メガイアワビ)において飼育水に深層水を加えて水温を下げることで、成長が停滞する夏季の高水温期においても順調に成長しました。(平成16～17年度)
- ・ 巡流水槽(図右)を利用して、陸上養殖実証試験を行い、養殖方法を検討しました。(平成16年度)
- ・ アワビ養殖生産に掛かるコストについて、試算表を作成しました。(平成16～18年度)

【研究成果の普及方法】

本事業の研究結果から、駿河湾深層水を用いたアワビ陸上養殖は、技術的には可能であると考えられます。ただし、費用対効果をはじめ、飼育施設のレイアウトや整備などのハード面、及び種苗の入荷先やアワビの出荷先などの問題点も残されており、養殖を希望する団体等には、それらを含め、技術指導します。

(作成 平成19年3月)